

開運UP水槽に見入る来館者—横浜中華街



### 観光客にぎわう 横浜中華街・元町

正月休みの3日、横浜市中区の元町ショッピングストリートや横浜中華街は、県内外から訪れた大勢の観光客でにぎわいを見せた。獅子舞など新年を祝うイベントも行われ、買い物客らは「家族みんなが健康な1年であってほしい」などと笑顔でハマの新春を楽しんでいた。

(熊谷 和夫)

歩行者天国となった元町ショッピングストリートでは、にぎやかに獅子舞のパフォーマンスが繰り広げられた。舞を披露したのは、2002年から横浜を中心に祭りばやし、獅子舞、里神楽など伝統芸能の伝承に取り組んでいる市民団体「横浜やしや鯛」(同市宋区)のメンバー19人と、指導に当たっている神楽師倉谷仙太郎さん(57)＝同市西区。

一同は、通りの各所で2頭

家族連れら通行人は2頭の獅子を取り囲み、金運を期待して獅子に頭をかんでもらったり、会員制交流サイト(SNS)に掲載する記念写真を

# 獅子舞や催し 楽しむ新春

一緒に撮ったりし、新春気分を満喫していた。  
一方、中華街の「ヨコハマおもしろ水族館」では、6日までのお正月特別展示として、キンセンイシモチなど縁起の良さそうな魚を集めた「海運UP水槽」、イサキ(幼魚の別称ウリボウ)など干支の「亥」に関連した魚を展示と語っていた。

した「亥年水槽」などを設け、多くの観光客を集めている。  
福島県郡山市から孫ら家族5人で中華街観光に訪れたという75歳の女性も楽しげに水槽に見入り、「郡山市は、原発事故で避難してきた人がたくさんいる。新年は何より天災のない年であってほしい」と語っていた。



大勢の観光客らに披露された獅子舞のパフォーマー

＝元町ショッピングストリート